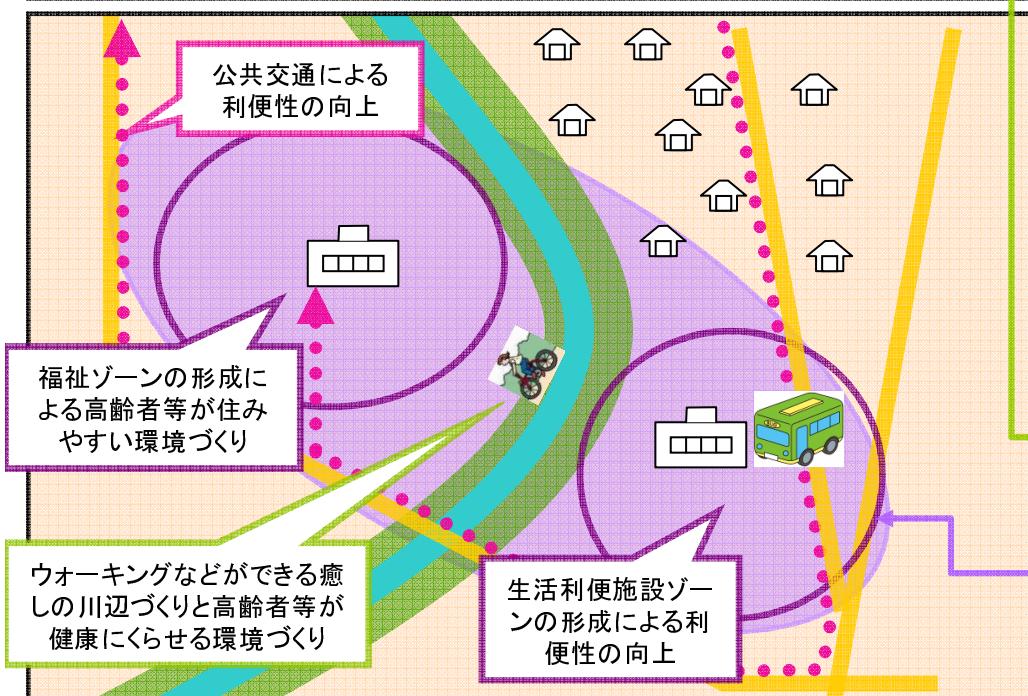
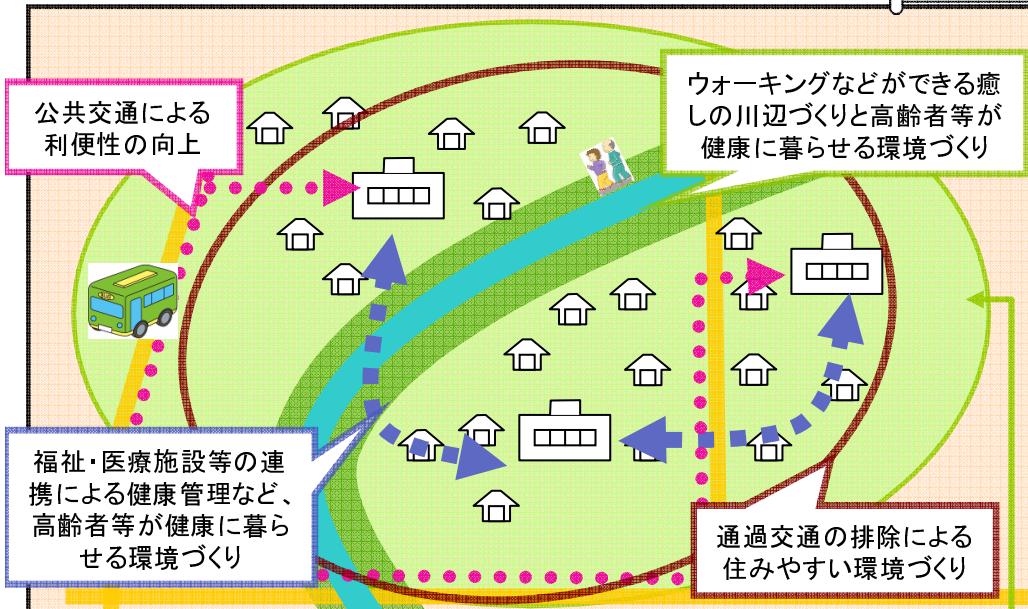


「健やかに生きる」構想

川辺のまちづくり



目標

- 高齢者等が住みやすいまちを目指し、癒しや安心を与え健康に暮らせる生活の場として、河川空間を活用したまちづくりを推進。

現状と課題

- 河川を都市の安全・防災の向上のみでなく、快適な環境を形成し、癒しなどの河川空間が持つ様々な機能をまちづくりに活かすことが必要。
- 県内の主要な河川周辺には様々な施設が立地しているが、これらの施設間の連関性がなく、また河川空間もまちづくりに活かされていない地域がある。

構想

既存施設の連携等のソフト施策を中心に高齢者等がいきいきとくらせるまちづくりを推進

既存施設を中心に長期的な施設誘致も行い高齢者等がいきいきとくらせるまちづくりを推進

川辺のまちづくり（イメージ） <（例）佐保川周辺>



構想

◎地域住民と協働し「高齢者等がいきいきと暮らせるまち」をめざす

<地域の方向性>

- ①高齢者等のいきがいづくり
- ②医療機関を核とした健康づくり
- ③できるだけ自宅で暮らせる環境づくり
- ④交通・生活環境の改善

<今後の進め方>

- ・関係者との意見交換会や聞き取り調査を実施
- ・地域の方向性や施設間の連携方策など施策の検討を実施
- ・各種施策について順次実施

川辺のまちづくり（イメージ） <（例）飛鳥川周辺>

短期施策

中長期施策

交通バリアフリーゾーン

- ・高齢者や交通弱者等の日常生活における歩行空間において道でとどまり・ゆったりできる快適空間の創出（ベンチ等の整備）

レクリエーション施設ゾーン

- ・高齢者や患者、障害者のための娯楽施設を誘致

癒しの川づくりゾーン

- ・高齢者や患者、障害者へ癒しの河川空間を整備（散策路や休憩施設等の整備）

来訪者の休憩拠点ゾーン

- ・楽しみながら快適に、使いやすい自転車利用環境の向上（休憩施設や駐輪場等の整備）

高齢者住宅施設ゾーン

- ・単身や夫婦世帯の高齢者に適した住宅を誘致

通過交通バイパスゾーン

- ・ゾーン内の通過交通を排除するバイパスを整備

生活利便施設ゾーン

- ・高齢者や患者、障害者、施設利用者等の日常の利便性を高める施設を誘致

学ぶゾーン

- ・高齢者や学校教育関係者が学べる施設を整備

構想

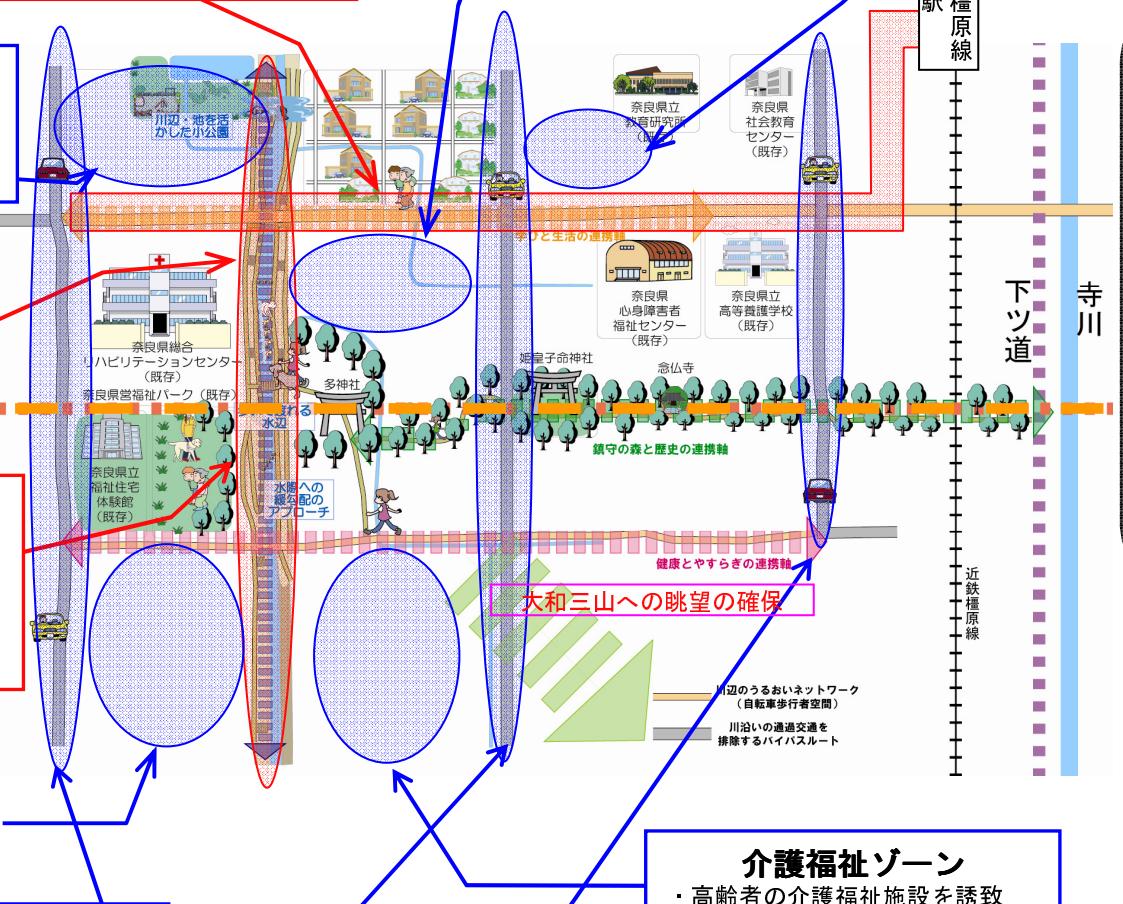
◎地域住民と協働し「高齢者等がいきいきと暮らせるまち」をめざす

<地域の方向性>

- ①福祉、教育施設や住宅地が連携したまちづくり
- ②来訪者にやさしいまちづくり
- ③高齢者が安心して暮らせるまちづくり

<今後の進め方>

- ・関係者との意見交換会や聞き取り調査を実施
- ・短期施策について、事業化に向け具体的検討を実施
- ・長期施策については、地域のあるべき姿の検討を実施



介護福祉ゾーン

- ・高齢者の介護福祉施設を誘致
- ・既存の医療福祉施設や入院患者の家族向けの短期滞在施設（ファミリーハウス）の誘致